


領収書内訳書

申請者氏名 様

平成 26年 5月 20日付領収書の内訳等については、以下のとおりです。

1 販売事業者 (領収書発行者)

会社名 代表者役職・氏名	太陽熱産業株式会社 代表取締役社長 太陽 熱男	代表者印	
住所	〒***-**** 静岡県葵区黒金町**-* **ビル*F		
担当者所属・氏名	太陽 熱治		
電話番号	***-***-****	FAX 番号	***-***-****

2 工事完了日

工事完了日 (注1)	平成 26年 5月 10日
------------	---------------

(注1) 平成 26年 4月 1日以降の場合が補助対象となる。完了日は実際に工事が完了した日とする (支払完了日や竣工検査実施日ではない)。

3 内訳書

補助対象経費 { (A) + (B) + (C) } = ( 568,000 ) 円 ← <合計>

(補助金額は、補助対象経費の合計額 × 1/10 (千円未満は切り捨て) 又は 10万円のいずれか小さい額)

項目	金額 (注3)	備考 (注4)
1. 建物工事費 (注1)	28,882,000 円	
2. 強制循環型太陽熱利用設備関連費		
本体機器 (集熱器・蓄熱槽)	(A) 341,800 円	
付帯機器 (注2)	(B) 116,200 円	
据付工事費 (補助熱源までの配管含む)	(C) 110,000 円	
補助熱源装置機器費	200,000 円	
補助熱源装置据付工事費	150,000 円	
その他経費 ( )	200,000 円	
小 計	30,000,000 円	
消費税	1,500,000 円	
合 計 (注5)	31,500,000 円	

- (注1) 建物の本工事に関する経費を、2.強制循環型太陽熱利用設備関連費を除いて記入すること。
- (注2) 付帯機器は、強制循環型太陽熱利用設備に係る架台、湯水混合ユニット、給湯加圧ポンプ、三方弁、減圧弁などを指す。
- (注3) 該当のない項目は金額を記入する必要はない。
- (注4) 他の項目と一括の金額の場合は備考欄にその旨を記入すること。
- (注5) 領収書の合計金額と合致していることを確認すること。